



～ 会員作品展開催される ～

恒例の会員作品展が今年も3月5日(木)から7日(土)まで大会議室にて開催されました。

書16点、日本画15点、洋画14点、陶芸写真等10点と出展数55点は、例年より若干少なめでしたが、新型コロナウイルスの流行が始まっていた時期にも関わらず100名を超すお客様が来場、大変好評でした。どの作品からも出展者の熱い意気込みが伝わる素晴らしい力作揃いでした。

来年も多数の傑作の展覧を期待しております。

書道部、墨画会等日頃の活動の成果のほか、小唄会の皆さんには、のど自慢の小唄を作品として披露していただきました(右記事参照)。

なお、各部会の共通の課題は新規会員の入会です。ご関心のある方は、事務局(杉本)までご連絡ください。

※集会委員会と小唄会が共同で毎年開催してきましたロビーでの懇親パーティーは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。

(集会委員長 石川通敬)



～ 小唄発表会開催される ～

作品展の中日にあたる3月6日午後3時から小唄発表会が開催されました。

小唄会は2000年に発足、月例会は一昨年で200回を迎えております。小唄部会の倶楽部内での演奏会は今年で12回となりました。本木寿以師の三味線でお祝儀曲「白扇」を皮切りに小唄部会員11名が各々2曲づつ唄を披露しました。

司会役魚部による曲目解説は毎回ご好評をいただいておりますが、これは他の小唄会にない日本倶楽部特有のスタイルです。

全くの小唄初心者も入部して楽しんでおりますので、経験を問わず小唄に関心のある方の入会をお待ちしております。

(小唄会幹事 魚部皓)



～ 新型コロナウイルス感染症対策について(経緯のご報告) ～

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、各国とも未曾有の困難に直面しています。わが国も例外ではありません。

日本倶楽部では、会員の皆様の安全と倶楽部の社会的責任を旨とし、状況の変化に応じ、また政府の要請、宣言等を参考に次のように対処して参りました。

2月21日から、講演会、午餐会、作品展懇親会は予定通り実施することとし、館内出入り口にアルコール消毒液を設置する外、館内でのマスクの着用、体調のすぐれない方のご来館のご遠慮をお願いしました。

3月中は、会館は通常通り開館し、作品展は予定通り実施しましたが、懇親会、午餐会、講演会は中止することといたしました。クラブ活動、同好会活動はそれぞれの活動ごとに判断(フェローシップ委員長と相談)し、中止の場合はホームページで連絡することといたしました。

4月7日、政府の緊急事態宣言が発出されました。これを受け同宣言の期間中、当倶楽部を閉館とすることといたしました。

5月4日、政府は、同緊急事態宣言の期限を5月31日(日)まで延長することといたしました。これを受けて日本倶楽部の休館期間を同日(5月31日)まで延長することといたしました。引き続き、制限緩和、宣言解除に向けた政府の検討状況等を注視しながら、できるだけ早期の倶楽部再開を図って行くこととしております。

はがきでのお知らせや、ホームページでご連絡をとりながら以上のように対応して参りました。

会員の皆様には大変ご不便をおかけしておりますが、目下の緊急の事態に鑑みご了承いただきますようお願いいたします。